

2021年度U12ブロック大会 実施ガイドライン

※ ガイドライン:2021/9/13 発表 JBA 事業・活動実施ガイドライン第4版

1. 基本方針 (ガイドライン p.7)

- ① 安全を最優先する
- ② 「新しい日常」「新しい生活様式」への適応を行う
- ③ 不当な扱いや差別の禁止(誹謗・中傷を行わない、許さないこと)

2. 運用方針(ガイドライン p.7)

- ① ガイドラインは留意点をまとめ、拘束力を持つようにしてください。
- ② ガイドラインの適用の優先度は、政府、自治体方針が優先されます。
- ③ 運用の際の留意点として、参加者の安全を最優先に、主催者が最終的な判断を行ってください。
- ④ 各ブロック(主管者)の方針をもとに、ブロック毎にガイドラインを作成して運用してください。

3. 大会実施可否判断基準(ガイドライン p.8)

- ① 政府、都道府県(知事や教育委員会等)、行政機関(首長や市町村教育委員会等)から発出されるイベント開催制限等により活動制限や活動停止が指示された場合および主催者の総合的判断とします。
- ② 事業・活動実施都道府県内の感染状況(「ステージを判断するための指標」、自治体の方針(移動制限、イベント開催制限、会場借用の可否等)、参加者の所属元方針(学校、連盟等)、開催地の実情等を総合的に鑑み、事業の中止や制限を決定します。
- ③ 判断基準の補足:以下はブロック毎に検討して決定する事項
 1. 不可抗力(自治体からの発出)があっても参加できない都道府県があっても大会を実施する/しない
 2. 辞退があっても参加できない都道府県があっても大会を実施する/しない
※ 参加チーム数10%以上の辞退で中止を検討(ガイドライン p.21)とありますが、「10%」についてもブロック毎に検討してください。

トライアウト・キャンプの開催条件(事業・活動実施ガイドラインによる)

- 1) 都道府県内の自治体の方針に従い、主管となるJBA/PBAが開催を認めていること。
- 2) 都道府県が開催地を含めた都道府県間の移動を認めていること。
- 3) 参加する選手全員が活動に向けたコンディションが整っていること。
- 4) 事業に関わる関係者、参加の選手スタッフが日常において「新しい生活様式」にしたがって感染対策を実践していること。
- 5) 会場において主管となるJBAが十分な感染対策を実行できること。
- 6) 事業・活動の実施条件は、観客席の間隔・選手間隔が最低1.5m以上を確保できる規模で開催すること。
- 7) 自治体や会場のイベント開催事項に従い、自治体からイベント中止制限が出ていないこと。

4. 感染対策を主催者が参加者に徹底すること(ガイドライン p.2)

- ① 主催者・運営者は社会的責任を持って感染対策を参加者に徹底しましょう。
- ② 参加者の感染対策意識が高まる方法を考えましょう。

5. 大会中止に至る状況(ガイドライン p.25)

- ① 感染拡大が懸念される場合、大会中止を検討してください。
- ② 不可抗力により参加できない場合、自治体や関係団体の方針を考慮しながら主催者が検討し判断してください。
- ③ 辞退により参加できない場合、目安としては参加チーム数の10%以上の辞退チームがあれば大会中止を検討してください。

6. ブロック大会中止の場合の検討

- ① ブロック大会中止となった場合、都道府県内活動を重視するような事業可否について検討いただくことを推奨します。

7. ブロック大会運営補助費について

- ① 2021年度より、ブロック大会運営補助費はブロック協会を通じて申請し、対応をお願いします。

8. 感染防止策:事前対応(ガイドライン p.10、p.22)

- ① 大会主催者によるガイドライン作成、参加チームへの事前周知
- ② 大会感染対策責任者(担当者)／対策部署の設置
 1. 大会責任者と別途設置し、各チームの感染防止対策責任者(担当者)との連絡窓口、処理について対応してください。
- ③ 事前周知事項(チェックリストも参考にしてください)
 1. 「大会中止に至る状況」に該当した場合、大会中でも急遽中止せざるを得ない場合があること
 2. 大会前日から大会中に陽性者/濃厚接触者が発生したチームは、「陽性者ではない・濃厚接触者ではないと保健所により判定された者で引き続き大会に参加できる、またはできない(どちらかを決定しておく)」こと
 3. 大会中に陽性者発生の場合、保健所の指導により陽性者行動のヒアリングから濃厚接触者の判定及び各種消毒作業により大会運営に大きな支障を来す場合は大会を中止とすること
 4. コロナ感染が疑われる体調不良者が出た場合は、参加を自粛すること
 5. 陽性者/濃厚接触者が判明した時の該当者対応は保健所の指示に従うこと
 6. 陽性者/濃厚接触者が判明した時の大会継続の判断手順については、大会前に取り決めておくこと
 7. 棄権するチームに対して、処分を行わないこと
 8. 無観客か有観客かを決定し、保護者の参加可能人数について明確にすること
 9. COCOAのダウンロード推奨について伝えること
 10. 健康チェック、コンディション記録用紙の記入(2週間前より必須)を徹底すること
 11. 日常における感染防止策を徹底すること
 12. 同意書の記入と各チーム毎の取りまとめを依頼すること
 13. チームに感染者や濃厚接触者がいた場合、復帰までの日数が妥当であることを徹底すること
 14. 運営者、レフリー、補助役員の当日会場における健康チェック体制を明確にすること

9. 感染防止策・大会実施(ガイドライン p.12、p.22)

詳細については、ガイドライン 12 ページ、22 ページより記載されている事項およびチェックリストを参照してください。

- ① 代表者会議・監督会議は密を避けるために、事前の書類周知およびオンラインでの会議で行ってください。
- ② 運営に関わる注意事項、チームへの依頼事項はガイドラインを参考として大会毎に作成し、参加チーム・関係者に周知してください。

- ③ 当日の健康チェック
 1. 入場時における検温
 2. 選手・スタッフ・保護者・関係者の健康チェックを各チームで徹底し、疑わしい者は会場に来ないこと。
 3. 運営者、レフリー、補助役員などの健康チェックを実施する
- ④ 諸室、手洗い場、トイレ、更衣室などの感染防止対策
 1. 更衣室が密にならない工夫をしてください。
- ⑤ コート上での感染防止策
 1. 試合間で消毒を行ってください。
- ⑥ 大会中の注意喚起
 1. 試合間に適時感染防止策の注意喚起のアナウンスを行ってください。
 2. 感染対策部署の方々を中心に、会場内の感染防止策が行われているかどうかを見回るようにお願いします。
- ⑦ 保護者来場対応
 1. 安全を最優先で考え、競技(試合)を安全に行うことを考えます。
 2. 最低限の人員での大会開催を推奨します。
 3. 会場の規模に応じて入場できる人数は限られる(ソーシャルディスタンスが取れるか)ので、会場毎に設定を検討してください。
 4. 保護者も必要最低限の人数を定めて参加チームに周知徹底してください。
 5. 会場においては、マスクの着用、消毒の奨励、ソーシャルディスタンスを保つての観戦、声を出さない応援、人ができる限り交わらない導線確保等を検討してください。
 6. 会場に入れない保護者が会場外で密にならないように、注意を促すようにしてください。
- ⑧ 一般観客(保護者以外)対応
 1. 観客を入れる判断は、開催地自治体の方針に従ってください。
 2. 観客を入れるためには、感染防止対策が実行できることが条件となります。感染防止対策の実行が難しいと判断された場合は、観客を入れる事を制限してください。
 3. 一般観客を入れないことを強く推奨します。
- ⑨ 移動
 1. バス、自家用車での移動の場合、密を避けるために定員の50%が目安となります。
 2. 公共交通機関、車やバスの利用について、ソーシャルディスタンス、マスク着用、手指消毒、できる限り会話を控えるなどを行う。
- ⑩ 宿泊
 1. できる限り少ない人数での部屋割りを推奨します。
 2. 可能な限りシングルルームを推奨します。
 3. 事前に宿泊先と感染防止対策について確認することを推奨します。
- ⑪ 食事・会食
 1. 宿泊時における食事は、ビッフェ形式は避けるようにしてください。
 2. 食事の際に密にならない工夫をしてください。
 3. 運営者、チーム関係者、保護者も含め会合・会食(酒宴、部屋内含め)は禁止します。
 4. 会場における飲食等(昼食)は、感染予防対策(3密を避けるなど)をとるようにしてください。

10. 大会前に参加チームに陽性者・濃厚接触者・体調不良者が判明した場合の対応(ガイドライン p.14、p.27)

- ① 陽性者・濃厚接触者・体調不良者が判明した場合の対応はガイドライン p.10、p.23 を参考にしてください。

- ② これらの基本対応を元に、大会前及び大会中に発生した場合を検討(p.22)し、事前に参加チームに周知をしてください。

11. コーチライセンスを持つコーチが参加できない場合の対応(ガイドライン p.28)

- ① 指導者養成部会が対応をまとめていますので参考にしてください。

12. 大会前日～大会中に陽性者・濃厚接触者が判明した場合の対応(ガイドライン p.28)

- ① 陽性者・濃厚接触者・体調不良者が判明した場合の対応はガイドライン p.10、p.23 を参考にしてください。
- ② これらの基本対応をもとに、大会中に発生した場合を検討してください。
 1. 陽性者及び濃厚接触者の該当者は保健所の指示に従って対応してください。
 2. 主催者は当該チームの感染対策責任者と連絡を取り、状況を把握してください。
 3. 大会に関係する自治体・部署に報告し、指示がある場合はこれに従ってください。
 4. 都道府県協会主催大会においては、都道府県協会に報告し、指示がある場合はこれに従ってください。
 5. 該当者及び該当チームは陽性者/濃厚接触者への対応を行ってください。
 6. 陽性者/濃厚接触者は参加不可です。
 7. 陽性者/濃厚接触者と判定されたものは、保健所の指示のもと、隔離が必要となります。
 8. 陽性者/濃厚接触者以外の選手/スタッフで大会参加が可能かどうかを確認してください。
 9. 参加する場合は、不安の解消及び誹謗中傷が起らないようにするために、対戦チームには感染者がいないことを周知するようにしてください。
 10. 辞退された場合は、「辞退チームによりチームが大会に参加できない場合」の対応を行ってください。

13. 大会前日～大会中に体調不良者が発生した場合の対応(ガイドライン p.28)

- ① 陽性者・濃厚接触者・体調不良者が判明した場合の対応はガイドライン p.10、p.23 を参考にしてください。
- ② これらの基本対応を元に、大会中に発生した場合を検討してください。
 1. 大会前日～大会中に新型コロナウイルス感染が強く疑われる体調不良者が発生した場合は、大会参加・活動を自粛してください。
 2. チームとして体調不良者発生時対応を行うようにしてください。
 3. 該当者が誹謗中傷を受けないようにチーム内でのケアに十分な配慮をお願い致します。
 4. 大会主催感染対策責任者へ連絡/報告をしてください。

14. 大会継続の判断(予め取り決めておく)(ガイドライン p.29)

15. 大会実施後の対応

- ① 10 日間は感染者発生がないかをウォッチする:各チーム担当者と連絡が取れるようにしてください。
- ② 陽性者が発生した場合は、保健所の指示に従い対応してください。

以上

2021年9月11日
JBA U12 カテゴリー一部会